



特集

# スポーツで 元気なまちに!

市内には、年齢や障害の有無に関わらず  
様々なスポーツを楽しむ人たちがいます。  
また、スポーツには、  
応援するという楽しみ方もあります。  
スポーツをする人、応援する人。  
どちらもまちを元気に盛り上げます。



## スポーツでまちづくり

皆さんは生活の中にスポーツを  
取り入れていますか？

市では、市民の誰もがスポーツ  
に親しむことができるよう、施設  
の整備や、誰でも無理なく楽しめ  
るユースポーツの普及など、環  
境づくりに取り組んでいます。ま  
た、旭川ハーフマラソンやバーサ  
ーロペット・ジャンプの開催の他、  
市民がスポーツを通じて夢や希望  
を抱くことができるよう、国内外  
からの大会や合宿の誘致にも力を  
入れ、スポーツによるまちづくり  
を進めています。

今回は、スポーツを楽しんでい  
る人や、市内で合宿を行った全日  
本チーム、旭川で誕生したプロバ  
レーボールチームなどを紹介しな  
がら、スポーツの魅力や楽しさを  
伝えます。



# スポーツを楽しみ、生きる力に



## 親子での参加が良い思い出に

9月24日(日)に開催される旭川ハーフマラソンは、旭橋やロータリー、常磐公園などの市街地を走り、旭川の魅力を体感できる大会です。タイムを競う種目の他に、楽しみながら走る3kmのファミリーランがあり、子供を連れた家族もたくさん出場します。

森下伸幸さん・妻の園絵さん・娘の紗羽さんもファミリーランに出場。「親子で一緒に取り組みたい」と、走るのを楽しみにしています。若い頃はサッカーをしていました。若い頃はサッカーをしていました。若い頃はサッカーをしていました。若い頃はサッカーをしていました。



旭川ハーフマラソン出場が家族行事になっている左から森下園絵さん、紗羽さん、伸幸さん

消でできるし、家族や仲間と一緒に和気あいあいと楽しめるのも魅力です」と伸幸さん。4回目から出場している小学3年生の紗羽さんは、今春の学校のマラソン記録会で2位になり、秋の記録会では1位を目指しています。「今年のハーフマラソンでは去年よりタイムを縮められるよう頑張る。大人になつたら21kmに出場したい」と意欲満々。園絵さんは「スポーツは苦手でしたが、家族のおかげで体を動かす機会ができました。けがをしないようにゆっくり完走したい」と笑顔で話します。伸幸さんは「マイペースで走りたいが、子供には負けたくない」と、父親としての意地を見せます。家族それぞれの気持ちで走る大会は、良い思い出になること間違いなしです。

## 夢や目標を持つことの大切さ

75歳の木本 巖さんは、56歳のとき屋根の雪下ろし中に転落して脊髄を損傷し、下半身が動きません。けがをしてから水泳を始め、障害者大会だけでなく、健常者が年齢別に参加するマスターズ大会でも金メダルに輝き、これまで様々な水泳大会で73個の金メダルを獲得しました。

水泳を始めたきっかけは、妻の由美子さんがリハビリにと勧めた、水中ウォーキング教室。最初はスタッフに肩を支えられながらやっと歩く状態でした。その後、おびつたのプールで指導を受けたのを機に、めきめきと上達。平成13年に初出場した北海道障害者水泳大会で、自由形1位、背泳ぎ2位の快挙。病気で入院し、水泳から離れた期間もありましたが、克服して翌年の大会から復帰し、障害者大会では、パラリンピックを目指



「この年齢でもタイムは伸びています」と話す木本 巖さん

す20代・30代の選手に勝ち優勝。今年6月のマスターズ大会でも金メダルを獲得しました。  
木本さんは「水泳は生きがいです。私にとっては主治医のようなもの。当初は不自由な体を受け入れられず、死にたいと思ったこともありましたが、水泳と出会って、夢や目標を持つことの大切さを教えられました」と話します。由美子さんから家族の支えも力に「いつかマスターズ大会で世界記録を」と、強い精神力で日々練習を続けます。





# 旭川から元気を発信!

## 旭川合宿を力に金メダルを!

昨年、旭川市にはレスリング女子日本代表をはじめ、プロ・アマを問わず多くの選手が合宿や大会に訪れました。来年の平昌、さらに3年後の東京オリンピック・パラリンピックに向けて全国で誘致活動が活発になる中、市では今年6月に「スポーツ合宿誘致等推進協議会」を設立し、官民一体で大会や合宿の誘致を進めています。

昨年9月のリオデジャネイロパラリンピックで銅メダルに輝いた、ウィルチェアーラグビー日本代表チームも、パラリンピック直前の昨年7月に旭川で合宿。さらに今年6月、再び旭川で合宿を行いました。「昨年は、一般公開の観戦

やボランティアなど、たくさんの人の応援やサポートが大きな力になりました。温かい環境で伸び伸び練習できたので、今年も合宿できたいですね」と話すのは、パラリンピックで大活躍した池崎大輔選手。「旭川は、ウィルチェアーラグビーに限らず、アイススレッジホッケーやテニスなど、障害者スポーツ全般を理解して支援する人が多いまちだと感じます。素晴らしいですね。僕たちも、旭川の皆さんの応援を力に、東京パラリンピックでは金メダルを目指します」と力強く話します。



①四肢に障害がある選手が車椅子で激しくぶつかり合いながら戦う、ウィルチェアーラグビーの日本代表チーム

②ウィルチェアーラグビー日本代表チームエースの池崎大輔選手



私も応援

選手を間近に見られて感激!

旭川龍谷高校3年生でサッカー部の山方幸汰さん

**合** 宿中の1日、体育館の松やに拭くボランティアをしました。間近で見た選手の筋肉は、自分たちの2倍以上あるのではと思うくらいがっしりとしていて、憧れます。選手がお礼を言ってくれ、気軽に撮影にも応じてくれて、良い思い出ができました。自分もスポーツをしているので、大会を支える人々への感謝の気持ちが強くなりました



私も応援

まち全体で応援しよう!

カムイ大雪バリアフリーツアーセンター長の五十嵐真幸さん

**力** ムイ大雪バリアフリーツアーセンターでは、市内の障害者スポーツの支援をしています。今回の合宿中、体育館の床に付いた、車椅子の滑り止めに使う松やにを拭くボランティアに300人が集まり、選手たちも驚いていました。旭川は障害者スポーツやその支援が盛んなことを市民に知ってもらい、まち全体で応援できればうれしいです



## 割引チケットで選手を応援

市・旭川ホテル旅館協同組合・旭川物産協会が協力して、市内で合宿した選手を対象に、旭川駅の観光物産情報センターにある地場産品展示販売コーナーや、道の駅あさひかわで利用できる割引チケットを、市内ホテル・旅館などで配布しています。



◎市内で練習するヴォレアス北海道のメンバー。選手一人一人が旭川から魅力を発信する役割を担う



**プロバレーボールチーム誕生!**

昨年10月、北海道初の男子プロバレーボールチーム「ヴォレアス北海道」が旭川で誕生。今年8月5日には、香港から「ドラゴンチーム」を招き、市内で熱戦を展開しました。

旭川出身でヴォレアス北海道の本部長としてチーム設立に奔走し、自らもバレーボールで活躍してきた池田憲士郎さんは「スポーツを通して子供たちや若者に夢を届け、旭川を元気にしたい、新たなスポーツ文化を旭川から発信したい」と思いを話します。

選手の1人、古田史郎さんは、函館市出身。元日本代表選手で、今年5月までプレミアリーグのジ

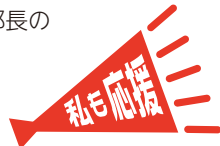


ヴォレアス北海道の古田史郎選手



ヴォレアス北海道本部長の池田憲士郎さん

エイテクト STEERING に在籍。身長190cm、110cmのジャンプ力を武器に活躍してきたバレー界注目の選手です。古田さんは「いつか北海道に、バレーボールで一番を目指せるチームをつくりたい」と思っていたところ、池田さんから誘いを受け、その思いに共感して入団を決意しました」と話します。バレーボールのリーグには3つの階層がありますが、「目指すのは1番上のプレミアリーグ。旭川の青少年に夢を持ってもらい、地域の元気の一翼を担えれば」と古田さんは熱を込めて話します。



旭川で誕生したことを  
まちの誇りにして、  
見守り、応援しよう!



ヴォレアス北海道を応援する左から立松佳樹さん、濱埜明弘さん、濱埜特臣さん

**手**

ーム設立の思いに胸を打たれて、応援したいと思いました。チームの設立時からトップになるまでの一連の活躍を見られるのは、地元のチームだからこそです

**プロの試合を見よう。**

道新 & 道スポプレゼンツ2017プロ野球パ・リーグ公式戦  
**北海道日本ハムファイターズ (1塁側) 対 福岡ソフトバンクホークス (3塁側)**

とき 8月29日(火)・30日(水) 午後6時試合開始  
ところ スタルヒン球場(花咲町2)

※前売券は道新プレイガイド(☎011・241・3871)、旭川振興公社(7の10 第二庁舎6階)他で発売中。券種により、売り切れの場合があります。

【詳細】旭川振興公社☎22・7198、政策調整課☎25・5358



**マイタウンあさひかわ**



市の広報番組「マイタウンあさひかわ」でもヴォレアス北海道を紹介します

放映 HBC 8月27日(日) 午前6時30分~45分



※番組は放送終了後、市☎でご覧になれます。

体力づくりや、家族や仲間と楽しく過ごす時間、また、生きる支えとなるなど、スポーツには様々な魅力があります。さらに、実際にスポーツをしなくても、頑張る人たちを応援することで、生活に張り合いができ、元氣になれます。市では、これからもスポーツに親しむことができる施設や環境整備に取り組んでいく他、大会や合宿の誘致にも力を入れ、スポーツでまちを元氣にしていきます。

**【詳細】スポーツ課**

☎23・1944